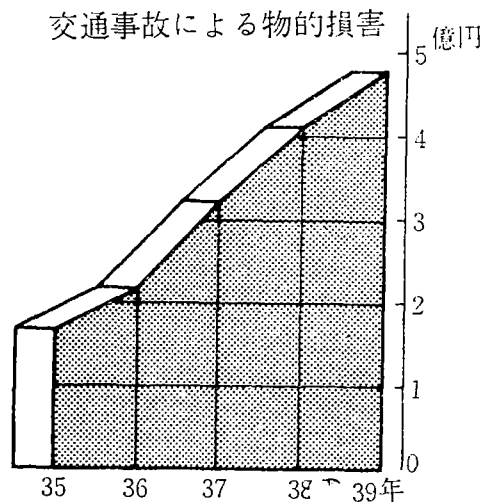


110. 交 通 事 故

35年以降の爆発的な自動車の増加により、県民一体の交通安全への努力にもかかわらず、39年中の交通事故は総死傷者数1万人を越え（うち死亡者数は3.6%）文字どおり交通戦争の様相を示している。

道路交通事故を車両別にみると、トラックが53.6%，乗用車22.7%，原動機付自転車17.1%の順となっている。

また、交通事故を原因別にみると、運転車両によるもの11,081件、93.8%，歩行者等によるもの731件、6.2%となっており運転車両による事故のうち「酒酔、わき見運転」が20.4%と、高いウエイトを占めている。



年	件数	(うち)車によるもの	死傷者数			物的損害額 (1000円)	
			総数	(うち)男	死亡者数		傷者数
昭和 33 年	3 961	3 237	3 817	2 787	151	3 666	76 122
34	5 823	4 994	5 107	3 750	205	4 902	121 444
35	7 502	6 498	6 356	4 819	252	6 104	166 984
36	8 205	7 503	6 903	5 205	295	6 608	215 206
37	9 625	9 036	8 095	6 207	393	7 702	323 035
38	10 108	9 391	8 877	6 723	357	8 520	406 276
39	11 812	11 081	10 379	7 882	369	10 010	479 909

原因	総数	自動車			原動機付自転車	その他の車両, 自転車等
		乗用	貨物	二輪		
総数	11 081	2 511	5 939	485	1 894	252
運転者の行為	9 179	2 049	4 969	424	1 536	201
最高速度違反	376	49	154	64	109	—
ハンドル操作不适当	1 067	258	579	40	176	14
わき見運転	1 125	231	615	38	239	2
追越不适当	1 002	224	575	63	139	1
徐行違反	1 085	315	543	55	170	2
右折, 左折不适当	537	155	330	6	36	10
車間距離不适当	428	85	305	10	28	—
その他の	3 559	732	1 868	148	639	172
運転者の状態	1 468	354	717	51	332	14
車両の状態	161	22	122	4	12	1
その他の	273	86	131	6	14	36